

2011年10月18日開催、「為替セミナー」報告レポート

タイトル: 「これからどうなる? 豪州経済の動向と為替」

副題: 「豪ドル相場の見方」

講師: ジュナックス・キャピタル株式会社、財務部長 津田 譲 氏



ギリシャ危機に端を発するユーロ崩壊への不安の中、日本は 1000 兆円を超える未曾有の赤字を抱え、少子高齢化と低成長で財政の持続性が危ぶまれています。

無限に借金を抱え増大させ続ける、そんなことができるとは国民の誰もが思っていません。

もしこのまま政治が無策の状態が続くならば、誰もが「国家財政破綻」の可能性を危惧せざる終えないのではないのでしょうか?

自分の財産は自分で守る。

ならばその一番賢い方法は?

その回答は、安全な通貨で自己財産を保有する。

このように考えるのは至極当然だと思います。

生活とビジネスの双方において、日本とオーストラリアに関わりを持つ私達は、自己財産の保有通貨

において豪ドルの選択肢は、他の通貨よりも身近です。それゆえに豪ドル通貨の特性や相場変動要因については、知っておきたい大変興味のある話題であることは間違いありません。

今回の講師である津田氏は、30年以上金融業界に携わり、為替ディーラーとして最前線に身を置きつづけている方で、豪ドルに関していえば15年以上その市場を見続けています。

そんな津田氏より、

- 豪ドル相場の特色や相場の見方
- 世界経済と豪ドルとの関係
- 商品相場と豪ドルのお話し
- 今後予想される豪ドルの好材料と悪材料
- 来年の豪ドル相場の3つのシナリオ
- 来年の豪ドル見通し(メインシナリオ)

など等、大変貴重なお話しを聞くことができました。

上記の講義内容をもみてもお分かりのように、1時間ではとても説明しきれぬボリュームではありません。早足での講義で、それでなくても素人には難しい専門的な内容なので、残念ながら本音を言えば講義の半分も理解できませんでした！

今回のセミナーを第1回目とし、津田氏に引き続き豪ドル為替セミナー第2回ということで、是非定期的な講義がお願いできればと思うのです。

今回のセミナーの参加者は41名、そのうち25名は非会員の方にご参加いただきました。最後になりますが、お忙しい中ご参加いただいた皆さんに、理事に代わりあらためてお礼申し上げます。

文・写真／国府田